



◆東日本大震災 写真による現地の様子◆
 2011年3月30日～ 写真撮影：牧島かれん



大地震と津波から約19日後の宮城県の様子です。
 写真におさめた現地の状況をご報告致します。
 復興には辛抱強い支援が必要であることを実感。継続的に活動が続けて参ります。



宮城県、沿岸部。

東松島市では市街地の6割以上が浸水。約2万平方キロで水が引かない状態が続いていました。一瞬にして水に飲み込まれ無念な思いをされた方も、殉死された方もいらしただろうと、手を合わせ祈りました。



石油コンビナート火災もあった多賀城市。

×印がされた車は死者がいたことを示しています。がれきの撤去には1年という目標が立てられています。町の再生には10年かかるのではと考えられています。

◇◇支援物資のご協力、ありがとうございます。◇◇



岩手県の避難所などへ。
 避難所では、たんぱく質・ビタミン類が不足。

宮城県利府町・松島町選出の安部孝県議。
 援助物資をしっかりと手渡しました。

実際に現地に赴くと、テレビ報道などを超えて被害が目の前に広がっている。しかし、市街地では一日でも早い復興をめざして、泥に埋もれたうどん屋などを片付ける店主の姿があまりに。今こそ、日本人の「絆」が試される時である。決して諦めない！日本の復興に向けて、気持ちをひとつに。牧島かれん